

◎原子力の平和的利用における協力のための日本国政府と
グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府
との間の協定に関する国際原子力機関保障措置の適用に
関する国際原子力機関、日本国政府並びにグレート・ブ
リテン及び北部アイルランド連合王国政府の間の協定に
基づく保障措置の日本国における適用を停止する議定書

(略称) 国際原子力機関、日本国及び英国の間の保障措
置移管協定に基づく保障措置の日本国における
適用停止議定書

昭和五十二年十二月二日 ウィーンで署名
昭和五十二年十二月二日 効力発生
昭和五十三年一月十日 告示

(外務省告示第三号)

目次

ページ

前文.....一〇七一

第一条 三者間協定の保障措置の適用停止.....一〇七二

第二条 効力発生及び有効期間.....一〇七二

国際原子力機関、日本国及び英国の間の保障措置移管協定に
基づく保障措置の日本国における適用停止議定書
一〇六九

国際原子力機関、日本国及び英国の間の保障措置移管協定に
基づく保障措置の日本国における適用停止議定書

一〇七〇

末文

一〇七一

(訳文)

原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府との間の協定に関する国際原子力機関保障措置の適用に関する国際原子力機関、日本国政府並びにグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府の間の協定に基づき保障措置の日本国における適用を停止する議定書

国際原子力機関、日本国政府及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府は、

千九百六十八年十月十五日にウィーンで署名された原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府との間の協定に関する国際原子力機関保障措置の適用に関する国際原子力機関、日本国政府並びにグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府の間の協定（以下「三者間協定」という）を想起し、
日本国が千九百七十六年六月八日に核兵器の不拡散に関する条約の締約国となつたことに留意し、

日本国政府が前記の条約第三条に関連する日本国の義務に基づいて国際原子力機関との間の協定に署名したことに留意し、
次のとおり協定した。

PROTOCOL SUSPENDING THE APPLICATION OF SAFEGUARDS IN JAPAN UNDER THE AGREEMENT BETWEEN THE INTERNATIONAL ATOMIC ENERGY AGENCY, THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE GOVERNMENT OF THE UNITED KINGDOM OF GREAT BRITAIN AND NORTHERN IRELAND FOR THE APPLICATION OF AGENCY SAFEGUARDS IN RESPECT OF THE AGREEMENT BETWEEN THOSE GOVERNMENTS FOR CO-OPERATION IN THE PEACEFUL USES OF ATOMIC ENERGY

The International Atomic Energy Agency, the Government of Japan and the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland;

Recalling the Agreement between the International Atomic Energy Agency, the Government of Japan and the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland for the Application of Agency Safeguards in respect of the Agreement between those Governments for Co-operation in the Peaceful Uses of Atomic Energy signed at Vienna on 15 October, 1968 (hereinafter referred to as "the Trilateral Agreement");

Noting that Japan became a party to the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons on 8 June, 1976;

Noting that the Government of Japan have signed an Agreement with the International Atomic Energy Agency in accordance with the obligations of Japan in connection with Article III of the above-mentioned Treaty;

Have agreed as follows:

三者間協定の保障措置の適用停止

第一条

千九百七十七年三月四日にウィーンで署名された核兵器の不拡散に関する条約第三条1及び4の規定の実施に関する日本国政府と国際原子力機関との間の協定（以下「保障措置協定」という。）が効力を有する間、日本国政府に関する限り、三者間協定の保障措置の適用は、停止する。

第二条

効力発生
及び有効
期間

この議定書は、署名の日に効力を生じ、かつ、保障措置協定が効力を有する間効力を有する。

末文

千九百七十七年十二月二日にウィーンで、英語により本書三通を作成した。

国際原子力機関のために

シグヴァード・エクランド

日本国政府のために

鹿取泰衛

グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府のために

H・モーガン

Article I

For such time as the Agreement signed in Vienna on 4 March, 1977 between the Government of Japan and the International Atomic Energy Agency in Implementation of Article III, 1 and 4 of the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons (hereinafter referred to as "the Safeguards Agreement") is in force, the application of the safeguards of the Trilateral Agreement shall be suspended, in so far as the Government of Japan is concerned.

Article II

This Protocol shall enter into force on the date of signature and shall remain in force for as long as the Safeguards Agreement remains in force.

DONE in triplicate at Vienna this 2nd day of December 1977 in the English language.

For the INTERNATIONAL ATOMIC ENERGY AGENCY:

(Signed) Sigvard Eklund

For the GOVERNMENT OF JAPAN:

(Signed) Yasue Katori

For the GOVERNMENT OF THE UNITED KINGDOM OF GREAT BRITAIN AND NORTHERN IRELAND:

(Signed) H. Morgan

(参考)

我が国は、一九七七年三月四日核不拡散条約に基づく保障措置協定を署名、同協定は同年十二月二日に発効した。このいわゆるNPT保障措置協定には、発効に伴い我が国が結んでいる二国間原子力協定に基づく保障措置の適用が停止されとの趣旨が定められている。一九六八年に締結された英国との原子力の平和利用協力協定は、NPT保障措置協定発効の場合における日英協定に基づく保障措置の適用を停止するための規定を欠いているので、日本国政府は、英国政府及び国際原子力機関との間で日英協定に基づく保障措置の適用を停止するため、この議定書を作成したものである。